



《古き良き物を伝える“レストランセラピー”の取組》

レストラン栗の里

宮脇 昇一郎

栗の里が考える古き良き物を伝える “レストランセラピー”とは？

「子が自ら学び、親が子に教える」空間の創出を目標とし、47年の歴史あるレストランを拠点とした「サービス」に、「古き良き物を伝える場」を融合することで、コミュニティの形成や癒しの場を提案。「見て、聞いて、聴いて、触れて、嗅いで、味わえる」等、“五感”で楽しみながら、心身の健康を“育てる”療法のこと。

①緑花療法

100種600株のバラが定植される観光オープンガーデン内で、主に“オールドローズ”と言われる古き良きバラを鑑賞という手法で、3世代家族へ発信(ペット入場可)。

②音楽療法

47年前のオープン当初から、店舗内外観をドイツの山小屋風にしてきたこともあり、ドイツ製（約50年前）&オランダ製（約40年前）の手廻しオルガンを所有し、店内外で、定時演奏会を実施。また、ガーデン出入口付近で演奏されていた歴史が多く記されているため、原点回帰の意味合いでも演奏。

③園芸療法

オールローズをメインに植栽し、**キッズガーデン**と題し、子ども達の学習の場も提供。古き良きバラの知る機会を創出。

④芸術療法

レトロな展示物を3世代家族へ提供(千歯こき・足踏み脱穀機・オート三輪(ダイハツ:ミゼット)・アンティークオルゴール・シンキングバード)等。普段、見る事が出来ないような物の発信。



⑤芳香療法

柵等の設置をなくし、子ども達も、触れながら
“レトロバラ”の香りを楽しめる環境を創出。

⑥食事療法

200年以上続く米農家として、「美味しいお米をたらふく食べてもらいたい」という当時からの理念を根底に、古き良き物がある環境で“昼夜”楽しめる飲食スペースの開放や食育イベントを開催。

長年の課題→他店舗での子育て支援の実施 相模大野店の取組



レストラン栗の里グループで「**家庭教育協力事業者連携事業**」の協定を結び、管理水田では、**米作り一貫体験**を実施。相模大野店では、2階スペースを**ギャラリー**として開放し、家族との**コミュニケーションの場**を提供。

長年の課題→他店舗での子育て支援の実施 相模原インター店の取組



レストランに併設する水耕栽培トマトハウスや管理農園で、収穫体験を実施。食育を中心とした家族とのコミュニケーションの場を提供。

《レストラン栗の里の古き良き物を伝える“レストランセラピー”の取組》

栗の里が考える古き良き物を伝える“レストランセラピー”とは？

「子が自ら学び、親が子に教える」空間の創出を目標とし、47年の歴史あるレストランを拠点とした「サービス」に、「古き良き物を伝える場」を融合することで、コミュニティの形成や癒しの場を提案。「見て、聞いて、聴いて、触れて、嗅いで、味わえる」等、“五感”で楽しみながら、心身の健康を“育てる”療法のこと。

《具体的な取組》

- ① 緑花療法：100種 600株のバラが定植される観光ガーデン内で、主に“オールドローズ”と言われる古き良きバラを鑑賞という手法で発信。
- ② 音楽療法：47年前のオープン当初から、店舗内外観をドイツの山小屋風にしてきたこともあり、ドイツ製（約50年前）&オランダ製（約40年前）の手廻しオルガンを所有し、店内外で定時演奏会を実施。また、ガーデン出入り口付近で演奏されていた歴史が多く記されているため、原点回帰の意味合いでも演奏。
- ③ 園芸療法：オールドローズをメインに植栽し、キッズガーデンと題し、子ども達の学習の場も提供。古き良きバラの知る機会を創出。
- ④ 芸術療法：米農家ならではの農機具、足踏み脱穀機・千歯こき・農家の車でもあった「働く車」の代表格、オート三輪（ダイハツ工業：ミゼット）、手廻しオルガンとも関連が深い、アンティークオルゴール、シンキングバード等、普段、見ることが出来ないような物の発信。
- ⑤ 芳香療法：飲食店として“香り”を演出することは大前提とし、オープンガーデンにて、柵等の設置を撤廃し、子ども達も、触れながら“レトロバラ”の香りを楽しめる環境を創出。
- ⑥ 食事療法：200年以上続く米農家として、「美味しいお米をたらふく食べてもらいたい」という当時の理念を根底に、古き良き物がある環境で“昼夜”楽しめる飲食スペースの開放や食育イベントを開催。
※イベント例：野菜嫌いな子を対象とした「野菜にチョコレートをつけて食べてみよう」その名も“チョコベジ”を大手企業様と連携し、栗の里で実施。
上記①～⑥の療法を実施することで、レストランの枠を超えた“子育て支援”を展開。

《長年の課題→他店舗での子育て支援の取組実施は？》

《栗の里グループで、神奈川県教育委員会との家庭教育協力事業者連携事業の協定再締結》

- ① （有）笹生農園の取組：管理水田での米作り一貫体験の実施（継続実施）
- ② 相模大野店の取組：2階スペースをギャラリーとして開放し、家族とのコミュニケーションの場を提供。
- ③ 相模原インター店の取組：レストランに併設する水耕栽培トマトハウスや管理農園で、収穫体験を実施。食育を中心とした家族とのコミュニケーションの場を提供。